

# Evolutionary Conservation of CULTURAL LANDSCAPE

Community Initiative to Sustain Dynamic Authenticity Identified by Local Practices

## 文化的景観 — 諸活動によって現れるその真実性のためのコミュニティ・イニシアティブ

Cultural Landscapeの保全は、時代の要請をも反映した重層的な文化の展開の結果表出する統合的現象として認識するものとなっており、都市・地域計画に閉じずひろく文化に関わる関係者や地域社会のイニシアティブがいかに継承と進化を実現するかが不可欠な取り組みとなっている。とりわけ、世界遺産等である「文化的景観」においては、その価値が、人の営みによって表出する景観と明確に認められ保全策が要請されることから、この点は重要な現在進行形の議論である。

文化的景観として世界遺産登録されたVal d'Orcia(オルチア渓谷)は、顕著な歴史的集落・小都市遺構と農業景観、自然景観からなる広域の遺産であり、一種のまちづくり会社を設立することで遺産保全のみならず地域振興、人材育成等にとりくみその実務は大きな注目を集めてきた。広大な棚田等が文化的景観として世界遺産となっているバリ島では、地域社会の生業の伝統に加え、多様で個性ある有形無形の文化を、改めて創造的に保全する活動が取り組まれつつある。

この2地域に直接に関わるゲストを招き、国際的な視野で歴史都市・集落における創造的活動のあり方についての議論を発展させたい。

2014年9月11日(木) 13:00~15:00

会場: KRP(京都リサーチパーク)西地区

9号館5階506号室

京都大学デザイン学イノベーション拠点(五条通沿い)

会場は少々わかりにくいので、ご参加下さる方は、お名前を [culturallandscape2014@gmail.com](mailto:culturallandscape2014@gmail.com) にお知らせ下さい

Lectures(通訳あり)

Paola Falini(パオラ・ファリーニ)@ローマ大学

オルチア渓谷の文化的景観とその継承発展のための地域組織の実績」

Catrini Kubontubuh(Catrini Ari カトリーニ・アリ)

@インドネシアヘリテージトラスト

バリ島の文化的景観と地域主体の生活・文化



コメンテーター 宗田好史(京都府立大学)、小浦久子(大阪大学) 他

コーディネーター 神吉紀世子(京都大学)



主催 京都大学デザイン学大学院連携プログラム  
協力 日本建築学会農村計画委員会 農山漁村文化景観小委員会